

# 「エコライフDAY2005」報告会・発表会 環境フォーラム「私のエコライフ」報告書

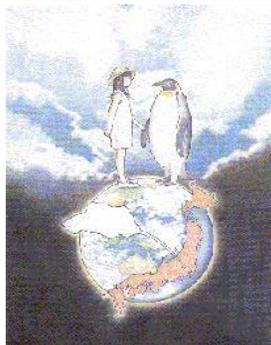
10月22日(土曜日)朝日環境センター・リサイクルプラザ3・4階において、「エコライフDAY」に参加して考えたこと、やってきたこと、続けていることなど、自分のエコライフを発表しました。また、環境にやさしい「私のエコライフ」を実践している方々と交流しました。川口市民環境会議の活動についての発表もありました。

|       |        |       |          |
|-------|--------|-------|----------|
| 参加者総数 | 延べ138人 |       |          |
| 発表者   | 小学生27人 | 中学生5人 | 大学生・院生2人 |
| 見学者   | 延べ104人 |       |          |



全体風景 研修室にて

見たい！聞きたい！話したい人  
この指と～まれ！



エコライフDAY・6月12日(日)



ミルクパックをリサイクルしました！！

主催：川口市民環境会議      ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife>  
 後援：川口市、川口市教育委員会  
 協力団体：綾瀬川を愛する会、かわぐち環境通貨プロジェクト、グラウンドワーク川口、  
 劇団ちよっぷ、尚美学園大学・FIFTH FILM、(株)東京ガス埼玉支店、  
 (株)東京電力川口支社  
 協賛：(有)アース電創、(有)いいづか、イオン(株)ジャスコ川口店、池田鉄工(株)、  
 オリジン自動車、川口珠算協会、(株)広栄、虎穴庵、埼玉建興(株)、(株)サンビック  
 相馬建設工業(株)、立石建設(株)、(株)デイジイ、徳竹塗装(株)、(株)日環サービス  
 (株)八廣園、(有)ふとんの北野屋、(株)モリチュウ、(株)リカベル、DOLCE  
 \*この事業は、(財)サイサン環境保全基金助成事業の支援を受けて実施いたしました。\*





ごあいさつ：浅羽理恵代表

世界各地で異常気象が発生し、温暖化問題が深刻になっていますが、その対策には“Think Globally, Act Locally(地球規模で考え、足元から行動)”の実践が重要です。今回環境フォーラムに集まってくださった皆さんは、まさにこれを実践している方々ばかりでとても頼もしく思いました。今年も環境フォーラムを、多くの方々のご協力により実現する事ができました。実施にあたりご支援・ご協力いただきました皆様に、この場をお借りいたしまして心より御礼申し上げます。

ごあいさつ：環境総務課課長 元井康博様

集中豪雨やハリケーンなど異常気象が世界各地で起きていますが、これも地球温暖化の影響の一つといわれています。国では、地球温暖化防止の国民運動であるチームマイナス6%の取り組みを積極的に展開しており、本市も当初からこの運動に参加し、夏・冬の空調管理、電気の節約、ノーカーデーの実施等地球温暖化防止に取り組んでいます。また、市民との協働の一環といたしまして、川口市民環境会議主催のエコライフDAYに後援・協力してきました。

このような活動を行政が主導して行ってきましたが、大きな拡がりにはつながりませんでした。これからは、市民の発信を行政がサポートし、市民と行政、企業すべてが協働してしっかりと推進することが大切です。



「エコライフDAY2005」結果報告：実行委員長 貴田順子

「エコライフDAY」がどのようにできるかをお話しました。2月に事業計画と予算を決め、6月12日の実施に向けて、チェックシートやポスターを作成し、広報活動を行って各学校にチェックシートを配布し、実施後回収。チェックシートの確認を経て、川口珠算協会の協力によりそろばん集計大会を開催、今年のCO<sub>2</sub>削減量を計算しました。夏休みには中学生ボランティアや大学生のインターンシップの方にコメントの分類作業を手伝っていただき報告書を作成していきました。37,447名の参加者によって成り立っている事業です。川口珠算協会、各学校の先生方、市役所の方をはじめとする多くの方々のご協力に感謝いたします。

## プログラム

### 第1部 発表「私のエコライフ」

・昨年の提案から『ミルクパックリサイクルについて』3校での取り組み

1. 朝日西小学校 環境委員会 5・6年 4名
2. 前川東小学校 児童会 6年 3名
3. 戸塚南小学校 理科環境委員会 5・6年 5名

同上

「エコライフDAYの取り組み」

- ・上青木南小学校 4年3名 「ごみの分別授業・相馬さんのお話から学んだこと」
- ・北中学校 1・2年3名 「エコライフDAYそろばん集計大会に参加して」
- ・東洋大学大学院 1名 「エコライフDAYの効果に関するアンケートから」
- ・こどもエコクラブ 3名他 「きっかけはエコクラブ・実行していること」

“アースワクチン&わんぱくエコクラブ”

- ・東中学校 3年2名 「給食委員になって気づいたこと」
- ・差間小学校 5年2名 「環境フォーラムに参加して変わった私達」
- ・木曾呂小学校 6年1名 「環境について、いろいろ調べてみました」
- ・並木小学校 6年6名 「キッズISOに取り組んで気がついたこと」
- ・芝浦工業大学 4年1名 「川口市民環境会議の活動を見ての感想」

\*アトラクション\* 手話コーラス・環境紙芝居「ようこそ森へ」・環境ミュージカル「環境戦隊エコソジャ〜」

### 第2部 ワークショップの体験

### 第3部 みんなでしゃべり場 ワークショップの体験発表とリーダーの感想

環境フォーラムの感想とまとめ、スタッフ紹介 (環境フォーラム実行委員長: 牧野真知子)

## § 第1部 「私のエコライフ」発表 (敬称略)

### ・ 昨年の提案から『ミルクパックリサイクルについて』の報告

#### 1. 朝日西小学校 環境委員会5・6年「3校での取り組み」4名

大川裕也、福井一輝、佐々木拳人、若林壮太

朝日西小学校では、9月から牛乳パックのリサイクルを始めました。2年生以上のクラスで行っています。

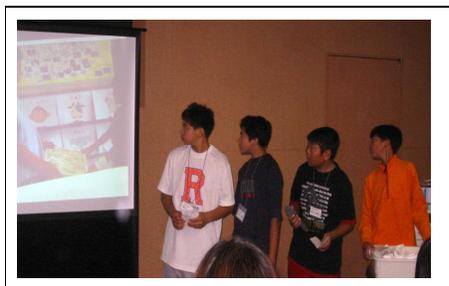
1. 牛乳パックを切り開き、洗って乾燥させる方法を環境新聞にまとめ知らせています。  
かごを使って洗います。このかごを使うと簡単にきれいになります。そして1日乾かします。

2. 各クラスで乾燥させた牛乳パックは、毎日昼休みに集めています。  
環境委員が中心となり、集まったものを整理しています。

3. 毎週金曜日には1週間分の牛乳パックをビニール袋に入れ、保管倉庫へ入れておきます。

4. その他、各家庭に呼びかけて、牛乳パックの回収にも取り組み始めました。

牛乳パックリサイクルという身近にできる小さな事から取り組み、環境について関心を持つ学校にしていきたいと思います。これからも自分たちにできることを考え、行動していきたいと思います。



昨年度に引き続き本年度も参加させていただきました。今年は、昨年問題提起させていただいた「学校給食用牛乳パックの回収」の解決の糸口が少し見つかりました。前川東小、戸塚南小といっしょに業者の方に引き取っていただけるようになりました。フォーラム当日は再生したトイレットペーパーを持ち帰ることができました。朝日西小は小さな学校ですのでたいしたことはできませんが、協力することで一步一步環境に取り組んでいきたいと思っています。参加した児童も他の発表を聞き、たくさんのおみやげを持って帰ることができました。

小浜佐恵子先生・川嶋栄子先生

#### 2. 前川東小学校 児童会6年「ミルクパックリサイクルについて」3名

石井陽子、熊木佳奈、滋野有紀子

学校では紙のリサイクルに積極的に取り組んでいます。その2つのリサイクルの内容を紹介します。

ひとつめは、牛乳パックのリサイクルです。

このリサイクルは、1年生から6年生まで全員が取り組んでいます。

・リサイクルの仕方:まず、牛乳パックを開きます。

上の三角の部分をはがします。次に上の部分を開きます。そして下の三角の部分もはがします。最後に真ん中ののりづけされている部分をはがして1枚の紙になったら終わりです。

開き終わった牛乳パックは、バケツにくんだ水で洗い乾かします。そして翌日1つに束ねて回収ボックスに入れます。このようなことを毎日続けてきました。

次に新聞紙のリサイクルです。

これは、今月から月に1回行うことになっています。一人、1~2日分くらいの古新聞を持ちより、リサイクルするという活動です。

その日、私たち児童会は、朝早く来て準備をします。ダンボールにビニール袋を入れ、持ってきた新聞紙をその中に入れていきます。ある程度たまったら、回収場所にもって行きます。その取り組みを2日間つづけます。最後に集まった物と牛乳パックをいっしょに業者の人がとりに来てくれます。この前やった新聞紙のリサイクルでは多くの人が持ってきてくれました。

このように前川東小学校ではリサイクルに一生懸命どの学年も取り組んでいます。私たちは1年生の頃から牛乳パックのリサイクルに取り組んできたので、あまりリサイクルしているという考えはないのですが、実際はとても環境にいい事していると知ってとてもビックリしました。皆さんも小さいことでもいいから何か環境にいい事してみてください。



### 3. 戸塚南小学校 理科環境委員会 5・6年「理科環境委員会と仲間たちの報告」5名

尾島汐海、山本由華、鈴木英里、大西湧介、豊田拓也

イヌザクラの保護樹林

戸塚南小学校は、今年環境にやさしいエコスクールとして作られました。理科環境委員会では、環境を守る活動に取り組んでいます。これまでの取り組みを報告します。

5月6日学校の南側にある斜面林を調査しました。

ボランティアの西川先生、横山先生にきていただき、いろいろな植物を調べ発表しました。この調査で、川口では珍しい大きなイヌザクラを発見し、その後、川口市の157番目の保存樹木になりました。

コンポスターとエコライフDAYの取り組みです。

戸塚南小学校では、給食のデザートのをコンポスターに入れて堆肥作りをしています。

エコライフデーの取り組みを全校に呼びかけました。7月には各学年の取り組みを、パソコン20台を使って理科環境委員会で集計しました。そして、9月の校内テレビ放送で報告しました。

10月、牛乳パックのリサイクルに取り組めました。

朝日西小、前川東小、戸塚南小の3校で協力することになり、また後から戸塚小も応援してくれました。牛乳パックだけでは赤字になるので、全校で古紙を集める「紙の日週間」を設け、10月14日に全校で回収をしました。みんな一人一人が持ってきてくれました。理科環境委員会で重さを全部量ってみました。戸塚南小だけで1,000kgを越えました。10月18日にはリサイクルしてくれる富澤商店の内山さんが来てくれて、みんなで次々と紙を運びました。目標の2,000kgを超えて、なんと2,220kgになり、みんなでばんざいをしました。

また、先生たちと協力して、ブログを作ってみました。このブログを使って、いろんな学校やいろんな人たちにこの取り組みを拡げていきたいです。ぜひ、ブログを読んでください。 <http://blog.goo.ne.jp/gyuunyupakku>



新設校の戸塚南小で理科環境委員会の子供達と参加しました。牛乳パックリサイクルの取り組みを4月から職員によびかけて学校全体の取り組みとし、朝日西小、前川東小とも連携して市内の業者をお願いして、古紙とあわせて牛乳パックを回収しトイレットペーパーへとリサイクルしました。この取り組みをフォーラムで報告しましたが、この活動が市内の学校にもっともっと拡がればと願っています。

菊次哲也先生

### ・上青木南小学校 4年「ごみの分別授業・相馬さんのお話から学んだこと」3名

簾内みゆき、末次梨奈、松沢亮兵

川口市民環境会議の人と一緒に勉強した「ごみの分別の授業」について。授業の一週間前から家のごみ調べをして、その日は一人ひとり生ごみ以外のごみを7個ぐらいずつ持ち寄りました。

「ごみ分別をしよう」…グループごとに話し合って、持ち寄ったごみを分けてみました。その後で正しい分別の仕方を教えてもらい、8種類に分けることが分かりました。

「分別ごみを捨ててみよう」…正しく分別しなおしたごみを整理して、種類ごとにダンボールに分けました。

「3Rについて知ろう」…リデュース・リユース・リサイクルの3Rについて教えてもらい、分別した8種類のごみが3Rのどこに当たるかクイズをしました。

「グリーンコンシューマーになるためには」…グリーンコンシューマーについて教えてもらい、自分ができていることを考えて発表しました。

まとめ…見沼の自然や森を守る活動をしている小澤さんから、地球温暖化を防ぐためにできることを聞きました。

「分かったこと・考えたこと」…必要なものを必要なだけ買う・よぶんなものはもらわない・3Rの中でReduce「へらす」が大切！自分達の生活を考えると「持ちすぎ」という感想や環境にやさしく自然にかえるものを買おう、使おうという意見も多かった。

「相馬さんのお話から学んだこと」について。

相馬さんは、上青木南小のすぐ近くに住んでいる建設会社の社長さんです。環境を守る活動に頑張っているのが毎年教えてもらっています。地球環境が悪化し、人口・ごみ・CO<sub>2</sub>が増えている、温暖化・異常気象などが起きている、作物が取れなくなっていることを話してくれました。



これをストップさせるためにはどうしたらよいか、ごみ・水・人口・食べ物・エネルギーについて教えてくださいました。  
ごみについては、「混ぜればごみで分ければ資源」ということで分別してごみを減らすことが大切だそうです。新聞を1年間ためると75kgになり、これを資源に戻すと直径14cm長さ8mの木を1と1/2本さくらなくて良いことが分かりました。また、ミルクパックを洗う箱を見せてもらい、洗って資源になるなんてすごいと思いました。

水は生物が生きるために大切なものです。地球上の97%が海水で、残りの3%のうち2.4%が南極・北極の水で、1%が地下水だそうです。人間が使える水はほんの少しと聞いてびっくりしました。節約するために雨水を上手に利用することが大切で、相馬さんの会社では雨水タンクや浄化装置を作って雨水を上手に利用しているそうです。

人口・食べ物について、世界の人口は1年間に9,000万人ずつふえて、2025年には80億人になるそうです。日本は食料の60%を外国に頼っているし、農業の仕事をする人が減っているの食べるものが不足になると教えてもらいました。自分で自分の食べ物を作ることが大事だそうです。

エネルギーについては、CO<sub>2</sub>を出す石油石炭ではなく、風力・太陽をエネルギーにすることが大切だそうです。相馬さんの会社では風力発電をして、その電気を使っていると話してくれました。

まとめとして、ワンガリ・マータイさんが言っている「もったいない」を生活に生かすことが大切だと話してくれました。テレビの環境番組を見て勉強したこと。

このごろの会社は、リユース・リサイクルしやすい物作りをしています。例えばビールびん、インスタントカメラ、エアコンなどです。また、土にかえるものづくりということで、大豆やトウモロコシの服が発明されました。

3Rのほかに、リペア＝修理する、リニューアブル＝再生可能なものがあることを知りました。ブラジルではサトウキビからエタノールを作り、車の燃料にしているそうです。

夏休みの取り組みについて

宇野君・私・末次さん・末次さんのお母さんがエコライフDAYを42日間続けてCO<sub>2</sub>を98,847gへらせることができました。「テレビのつけっぱなしをとめる」「使わない部屋の電気を消す」をがんばったら電気代が減らせました。

最後に私たちに出来ることについて話し合いました。

食べることで、残さず食べる、自分で育てることが大切だと分かりました。4年生は総合でお米と野菜を育てていて、おにぎりとおみそ汁にして食べることにしています。ごみでは、分別して資源として生かすことが大切です。広告紙をメモや生ごみ袋に使い、使った紙の裏は、印刷やコピーしてもう一度使います。水は節水することが大切です。歯磨きはコップで、バケツでそうじし、ふるの水は洗たくなどに使いたいです。

また、物を大切に使うことです。使えるものは何度でも使う、自動車ではなくできるだけ自転車・徒歩で行く、リフォームすることが大切だと思います。私は自由研究で、大好きなジーンズをリフォームして思い出バックを作りました。できることを出し合ったら、みんなエコライフDAYで取り組んでいることだと分かりました。これからも、学校や家で続けて生きたいです。

当日はお世話になりました。子ども達も、ドキドキしながら発表できて嬉しかったようです。クラスの子も達にも報告し、ワークショップで作った笛を自慢するんだと張り切っていました。ありがとうございました。 谷崎英子先生

## ・北中学校1・2年「エコライフDAYそろばん集計大会に参加して」3名

田中清美、松原良匡、浅井健介

今年、エコライフDAYで、二酸化炭素量の集計作業のお手伝いをさせていただきました。川口北中2年で暗算八段の田中清美です。同じく川口北中2年で暗算九段の松原良匡です。川口北中1年で暗算六段の浅井健介です。本当はもっとたくさんの人数で集計作業を行ったのですが、私たちが代表でこの場に参加させていただきました。

そもそも私たちが集計をさせていただくことになった経緯ですが、いいましても細かいことはわからないのですが、確か2001年のエコライフDAYには、10,000人くらい参加し、それを川口市民環境会議さんが、半年をかけて集計していたという話を、私たちのそろばんの先生が聞いてきて引き受けてきた次第です。

何にでも興味がある先生ですが、集計したのは私たちです。

先生は「自分たちの特技が人様のお役に立てるといことは尊いことだ」といい、腕を組んで見ていただけです。

さて僕たちの感想です。

- ・エコライフDAYという1つの行事にたくさんの人が関わっていることがわかりました。
- ・もっと定期的にエコライフDAYをやれば、もっと二酸化炭素を減らせると思いました。
- ・ボランティアというものを経験させていただきました。
- ・部屋の電気をこまめに消すようになりました



- ・オゾン層のやぶけた穴を埋めるにはどうしたらいいのか調べてみましたが、現在の科学を持ってしても修復できないことがわかりショックです。
- ・皮膚がんになりたくないと思いました。
- ・小学生たちは、夏休みの宿題で環境について調べていた後輩が何人かいました。  
(きょう、発表させていただく水沼一騎もその一人です)
- ・環境のニュースやドキュメンタリー番組を見るようになりました。
- ・二酸化炭素を出さないために呼吸を控えるようになりました。ウソです。
- ・日頃計算の練習をしているのですが、仕事として計算をしたので、間違えてはいけないと思い緊張しました。



### ・東洋大学大学院生「エコライフDAYの効果に関するアンケートから」 山本弘子

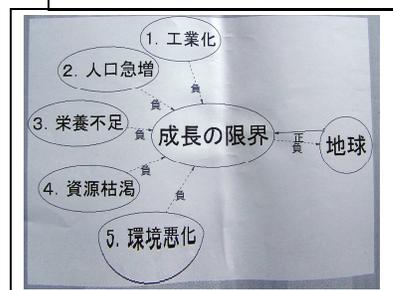
「科学なんてさ、学者の仕事よ」、しかし「快適な生活は科学のおかげだから私たちも考えなくちゃ」。科学も社会も進歩して、持続可能な環境保全のためには、どちらの意識が良いのでしょうか？

1972年ローマクラブから「成長の限界」が報告されました。

それは、地球の資源を使い、1.加速的に進む工業化、2.急速な人口増加、3.広範に広がっている栄養不足、4.天然資源の枯渇、5.環境悪化の元になる廃棄物を地球にもどしています。森林や海洋が汚染物質を浄化しますが限界があり、自然浄化力を超えて汚染が生じてしまいました。

川口市市民環境会議の取り組みは、地球規模の環境問題と地域の環境問題で「地球温暖化防止への取り組み」と「環境フォーラム」など注目に値するもので、その効果を確認しました。

詳しくは、廃棄物学会編集 市民が作るごみ読本「C & G」NO10 (2006年3月31日発行予定)をご覧ください。



### ・こどもエコクラブ“アースワクチン&わんぱくエコクラブ”

#### 「きっかけはエコクラブ・実行していること」 3名他 加藤文音、滝澤咲、井上凧

- ・町会でごみ拾いをしていますが、それぞれの家族が隣の町会の公園のごみ拾いをしています。ごみ箱に入れず、ポイ捨てが目立ちます。
  - ・芝川のごみ拾いもしています。生活ごみが多く、粗大ごみ、ビデオテープの山などが多く捨てられています。
  - ・自分でできていることは、歯を磨く時にこまめに水を止める。
- 環境フォーラムに参加してから、自分たちでできることを考えて、学校でミルクパックのリサイクルができるように、校長先生にお話をして学校全体で取り組めるようになりました。



#### ・東中学校3年 「給食委員になって気づいた事」 2名 平林豊、駒木大師

日ごろ「もったいない」と思っている事はどんな事ですか？  
私は、中学1年生の頃からの3年間ずっと給食委員をやっています。その中で、毎日給食室に戻されてくるたくさんの残り物を目にしてきました。東中学校には、およそ600人分の給食が届けられ、そのうち未開封の牛乳は100個、キウィフルーツは200個も残ったときがありました。みんながあまり好きではない汁物は、丸缶が5杯分以上とかなりの食べ物が無駄になっています。これだけの残飯が出てしまうのは、メニューにも問題があるのではないかと考えていました。たとえば、ミネストローネは特に人気がなく、毎回たくさん残ってしまいます。極端に言うと配った分だけ返ってくるという状態です。そういったメニューは見直しをして改善をすれば、残飯は確実に減る、そう考えていました。そんな時、この環境フォーラムへの参加が決まり、給食の残り物について詳しく調べるため、南平学校給食センターに行き、お話を伺うことができました。



所長の戸田さんと、栄養士さんにくつかの質問をしました。

Q: 毎回、決まって大量に残ってしまうメニューの見直しというのは行っていますか？

A: おいしく、食べやすく、残さず、体に良い給食メニューを考え、毎月見直しを行っています。

例えば、ひじきと豆の煮物だけを出すのではなく、ひじき入りギョウザなどにしたり、和風味を洋風味にかえたりするなどいろいろと工夫をしています。また、給食内容によって出す時期(季節)を考えています。他にも、提供する食材量をやや少なめにしたりすることもあります。(パンの大きさを小さくしたり、汁物の量を減らすなど)

Q: センターに戻された未開封の牛乳やパンなどはどう処理されているのですか？

A: 給食センター内では処理しておりません。

牛乳やパンは製造業者が持ち帰って産業廃棄物業者が引き取り、環境センターで焼却処分されています。

その他未開封の物全てが焼却処分されています。

Q: 牛乳パックは、回収後どう処理されていますか？

A: 牛乳パックも、牛乳製造会社が回収し、産業廃棄物業者が引き取り、環境センターで焼却処分されています。しかし、来年からは各学校で洗って返却され、リサイクルされる予定です。

Q: 生ごみは、毎日どれくらいの量が出されていますか？ また、その処理はどうしていますか？

A: 南平学校給食センターの配送校全16校(7500食分)から毎日約100kg(水分とパンは除く)の生ごみが出されます。ごみ袋に換算すると約10袋分ではありますが、多くの量の汁物が下水に流されています。戻ってきた生ごみは産業廃棄物業者が引き取り、環境センターへ持ち込み焼却処分されています。

そして、栄養士さんは、こんな話をしてくれました。

「私たちも、人気のないメニューは残り物がたくさん出てしまうことは分かっているのですが、給食でいろいろな味を知り、食の幅を広げていって欲しいのです。そして、将来的に好き嫌いなく何でも食べられるようになってくれることを願っています。」

最後に、戸田所長さんからもこんなお願いがありました。

「今の子どもたちは、食わず嫌いや偏食な子どもも多いので、好き嫌いなく残さず食べるという基本的な食の教育を家庭の中でもしていくことが大切だと思います。旅先での出来事です。フランス人家族がバイキング形式のレストランで食事をしていました。ふとその家族に目をやると、母親が子供たち一人一人の肩を抱きかかえるようにして料理の取り方や食べる順番をていねいに教えていました。家庭での教育とは、このようなところにあるのではないのでしょうか。」お話を伺い給食センターの人たちは、私たちにとても細やかな配慮をしてくれていることがわかりました。

それでは、私たちには何ができるのでしょうか？ 私は以前、クラス内で問題があり食べ始めが遅れてしまい、時間が無いからおかずを残してしまったことがあります。時間があれば…と思いながらやむを得ず残しました。そんな事がないように与えられた時間を有効に使うため皆で協力していかなければいけないと思います。

また、中学生になるとお代わりをしたり、匂いのきつい食べ物を食べるのは恥ずかしいと感じている人が多いようです。しかし、作ってくれた人たちの思いや、食材になった命、資源のこと、自分の体のこと、十分な食事が取れない貧しい国の人々のことを考えて「残すことが恥ずかしいことなんだ」という意識に変えていかななくてはならないと思います。子供の頃から一人一人ができることを真剣に取り組んでいくべきだと強く考え、これからもそういった気持ちを持ち続けていきたいと思っています。近々、東中学校のホームページが開設されることが決まりました。さっそく私が委員長を務める給食委員会の紹介欄に自分なりのメッセージを掲載する予定です。

今回、このような機会に恵まれてとてもいい勉強になりました。環境にも興味を持つことができました。

## ・差間小学校5年「環境フォーラムに参加して変わった私達」2名

小高萌、図齋はるか

去年フォーラムに参加して、ごみのことを発表しましたが、ミルクパックを集めていたところがあり、私たちにもできそうなこととして学校でミルクパックを集めてみたいと友達を誘って集め始めました。ところが、ミルクパックを洗うのに水を使い、川を汚すのではないかと、中止になりました。でも家で私のできることをしています。それは、ミルクパックを洗った水は植木にまくことで解決です。学校で勧めたミルクパックの開き方の、絵を書きました。見て下さい。今年も参加して、たくさんの人の話が聴けてよかったです。



## ・木曽呂小学校6年「環境について、いろいろ調べてみました」 水沼一騎

地球温暖化を防ぐためにできる事。

1. ポイ捨てをしない。
2. リサイクルをする。
3. ボランティアに参加する。
4. 近くへ行く時は自転車で行く。
5. そろばんを習えばよい。電卓を使うと、電気を使うのでそろばんを習うと簡単に計算ができて電気は使いません！
6. 弁当箱の再利用。買った弁当の中身を全部食べたなら箱を洗って遠足などの弁当箱に再利用するとゴミが出ないので環境に良いと思います。
7. 電気を無駄にしない。
8. クーラーの温度を1度上げる。

人間だけが動物じゃない！

・\*生態系ピラミット



\*ワシントン条約

1973年3月3日にできました。絶滅の恐れのある野生生物の保護を目的に国際取引を規制する条約です。この条約を守っている国は167カ国です。

・ワシントン条約で規制されている動物

- 哺乳類 サル・クマ・ネコ(全種類)、シマウマ、アフリカゾウ、インドゾウ、オオカミ、サイ、カバなど。
- 鳥類 ワシ・タカ・フクロウ(全種類)、インコ(セキセイインコ、オカメインコを除く全て)、ペンギンなど。
- は虫類 リクガメ・ウミガメ・カメレオン・ワニ(全種類)など。
- 植物 ラン・ソテツ(全種類)、サボテン。

私たちにできること

- どんな生き物も地球の仲間、大切に思うこと！
- めずらしいからほしいからといって絶滅が心配される生き物を飼わないこと。
- 絶滅が心配される生き物から作られた物は買わないこと。
- ペットは最後まで責任を持って飼える生き物にすること。絶対捨てない。
- 野生の生き物にはかかってに食べ物を与えない。

感想：環境について調べて分かったことがたくさんあります。一番ビックリしたのは、クマの内臓が漢方薬になっていること。漢方薬を作るために相手の命を粗末にすることはいけないと思います。でも、漢方薬で治った人は、クマのおかげで治ったのでとてもありがたいですね。たくさんの方が分かってとてもよかったです。

## ・並木小学校6年「キッズISOに取り組んで気がついたこと」6名

斉藤若菜、佐藤奈美、小林由季、松村恭平、羽生晶紘、鈴木七海

キッズISO14000プログラム：去年、キッズISO14000プログラムに取り組みました。このプログラムは、小学校高学年から高校生までを対象とした環境教育プログラムで、内容は、家庭・地域・地球の環境を良くするための活動を体験していくというものでした。

取り組み方：実施期間は2ヶ月間です。その中で、電気、水道、ガス、ゴミの量を1週間ごとに調べていきます。そして、1週間ごとの消費量を調べて、無駄な消費がないかを考えていきます。2,3週間ごとには家庭で会議を開きます。それぞれにどんなことをするか役割を決めて全員で取り組みます。このプログラムは、家族の協力が必要になります。

\*電気について 1ターン目(1週～2週)：作戦会議

・1ターン目は1番最初ということで、家族でどんな取り組みをするかを作戦会議しました。そして、係を家庭の中で3つに振り分け協力して取り組む。私は無駄な電気を消す係。母は電気器具をこまめに掃除する係。弟はテレビの主電源を消す係に決定。1ターン目は2週間の取り組み。最終の日に家族で作戦の反省を話し合いました。その結果、弟の係にもう少しがんばってもらうことになりました。

・2ターン目(3週～5週)：作戦会議2

1ターン目反省を元に作戦会議をしてから取り組みました。

弟の係をもう少しがんばることを中心にして、私と母は1ターン目の取り組みを継続して行うことにしました。

- ・3ターン目(6週～8週):作戦会議3(取り組みの反省)  
3ターン目は父もいっしょに取り組むことにしました。父の係は電気係。そして最後に家族で反省の会議をしました。その結果、3ターン目ということで、みんなが協力してとてもよい結果が得られました。



- \* ガスについて:ガスメーターのチェック

毎週メーターをチェックしました。毎週続けていくうちにどんどんガスの使用量が減っていくことが分かりました。  
考えた係は「台所のガスを使いすぎない。」「お風呂のガスを早く切る」などの係です。

- \* 水について:水道メーターのチェック

節水と水をきれいにする作戦です。家の水道メーターを1週間に1回決めた日に調べます。まず、節水は歯磨きや洗面の時にこまめに水を止めているか、次に食器を洗う時は洗剤を少なめにするを心がけました。

- \* ゴミについて:4つのR、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル

「リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの4つのRでエコ生活」という言葉を元に取り組みました。初めに自分が地球に良いことをどれだけしているかを調べ、自分にできることを考えました。ゴミの量を継続して計っていくとやはり最初と比べてだんだんゴミの量が減っていったのが分かりました。

その後、自主学习で…

キッズ ISO プログラムを終えた後も自主学习で環境問題について調べてまとめたりしています。たとえば、キッズISOプログラムをやったことを元に、地球温暖化のための「クールビズ」「ウォームビズ」などについてまとめたりしています。今後は、牛乳パックのリサイクルなどの問題についても調べて取り組んでいきたいと考えています。

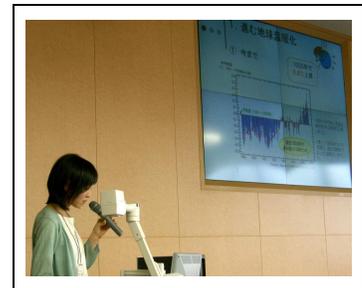
## ・芝浦工業大学4年「川口市民環境会議の活動を見ての感想」

鳥光晴香

### 進む地球温暖化

・世界の平均地上気温は、20世紀中に約0.6℃上昇しました。特に1990年代の10年間は、過去1,000年でもっとも温暖な10年でした。このまま、化石燃料の使用を中心とした高度成長社会を続けていくと、2100年までのたった100年間で、最大5.8℃も気温が上昇すると考えられています。海面上昇は、最大88cmと予測されています。

しかし、現在のように多くの生物が生き延びるのは、温室効果があるおかげなのです。温室効果ガスがないと、地球の平均気温は-18℃になってしまいます。



- ・温暖化が進むと、冬に降る雪が雨に変わり雪の量が減ってしまいます。すると、日本でも積雪によって守られていた植生や、春先の雪解け水を利用していた農業などができなくなってしまいます。
- ・1mの海面上昇で、全国の90%の砂浜・海岸が失われてしまいます。干潟がなくなってしまうと、海ガメや渡り鳥など、生き物の、砂浜での産卵・保育がむずかしくなってしまいます。沈んでなくなってしまう国もあり人も住むことができません。
- ・地球の温度が上がると、マラリアを媒介する蚊などの分布域が北上・拡大してしまいます。すると、日本でも、マラリア・デング熱など、動物媒介性感染症のリスクが大きくなってしまいます。

### 地球温暖化対策の現状

- ・2005年2月16日に京都議定書が発効され、目標達成のため様々な取り組みが実施されていますが、日本のエネルギー消費量は増加を続けています。中でも、「家庭」から出るCO<sub>2</sub>排出量は、全体の約20%を占めています(2003年度)。その量は、京都議定書の基準年である1990年のCO<sub>2</sub>排出量から約33%も増加しており、他の部門と比較しても顕著な伸び率を示しています。
- ・環境政策は、市民に浸透するのが難しく、「環境家計簿」など家庭でもできる環境対策が採られてきましたが、資料を配布しただけではほとんど行動につながらず、いい対策や専門家のすばらしい知識もあり、いいアイデアを作って行政から環境対策の呼びかけをしても、市民への定着や大きな効果には結びついていません。生活者の視点に立ちづらく、担当する範囲も広すぎて、一人ひとりに伝えていくのは大変です。

そこで、みなさんもご存知、川口市民環境会議の「エコライフデー」。

6年目の今年、「エコライフデー」の参加人数は川口市で約37,000人、県全体でも10万人を超えるなど、どんどん広がっています。

- ・「エコライフデー」の特徴は、難しかった「環境家計簿」を1日版にし、学年別チェックシートを作ったことです。誰もが無理なく簡単にエコライフを実践することが出来ます。

- ・「エコライフデー」を知らない人にもわかるように、説明のビデオを大学生にも協力してもらい作りしました。
- ・「エコライフデー」の集計も“そろばん集計大会”として行い、ボランティアの経験を通じて子供たちに協力してもらっています。このように、「エコライフデー」はどんどんみんなの手で作られ広がっています。
- ・報告書で「エコライフデー」の効果をフィードバック。メンバーとボランティアで、コメントも一枚一枚丁寧に見て仕分けして報告書にします。効果を数字で表すことで、みんなのやる気もアップしますよね。

#### 環境教育の出前授業

- ・子供たちに地球温暖化の原因や、身近な環境問題、「エコライフデー」について教え、できることを実践。生徒に、環境を守ることの大切さや今できることを直接伝えます。また、地域に密着した団体ならではのネットワークを使って、他の団体や知識のある人を招いたり、図書館、公民館、地元企業などにも協力してもらって体験型授業も組み込んでいきます。このような出前授業の内容についても、先生と入念に話し合い、授業が楽しくなるようなプランをメンバーが協力し合って考えていきます。

#### 環境パートナーシップ

- ・このように、川口市民環境会議の活動は、学校・市民を中心にいろいろな人と協力し合い、各主体の持つ良さや持ち味を生かしながら活動しています。

環境パートナーシップでは、適切な役割分担により、相互に尊重しなら活動することが大切です。それぞれの得意分野を互いに活かし合い、補い合うことで、より大きな相乗効果が得られています。川口市民環境会議の方々の情熱が周りを動かし、市民や行政とのパートナーシップが取れた理想的な活動に繋がったのだと思います。

感想：フォーラムでは、「川口市民環境会議の活動を見ての感想」として、地球温暖化の原因と影響、川口市民環境の活動と、行政と市民のパートナーシップの取れた環境政策の大切さを発表しました。フォーラムでは、ふだん聞けないような小学生の発表などを聞いてよい刺激になりました。いろいろな世代の人の話を聞ける機会というのは、実はなかなかありません。自分では考えつかないような切り口からの取り組みを教えてもらえたり、より生活に身近な観点から噛み砕いた発想をもらえたり、あっと驚かされるような発表もたくさんありました。

子どもたちの発表は、それぞれの思いがまっすぐ伝わってきて、こちらが教えられるようなこともたくさんありました。先生方や企業の方の発表などもあればおもしろかったかもしれません。また、各ブースに分かれた体験コーナーでは、いろいろなことを体験できるだけでなく、来ている方々と交流できるいい機会になりました。とても楽しかったです。

## §第2部 ワークショップ

### い) 東京ガス「燃料電池について」根岸俊充

内容：燃料電池で水素と酸素から電気ができることを学び、模型キットを使って電球を点灯させたり、模型自動車を走らせたりしました。

感想：実験を通じてより深く、燃料電池がエネルギーの有効利用と地球温暖化防止に役立つことを学んでいただけたと思います。今後も、環境やエネルギーの大切さを伝える活動を積極的に推進してまいります。



### ろ) 綾瀬川を愛する会「アクリルたわしを編んでみよう」幾島淑美

内容：耳に手を当てて体の中の川(血液)の流れの音を聞きましょう。

川も、体の中の血液の流れと同じで地球の血管なので、いつもきれいにしておかないといけません。川を汚さないために、アクリルの毛糸を使って、洗剤を使わないで洗えるアクリルたわしを、小さな子から大人まで、みんなで作りしました。

感想：自分でたわしを作ることで、お手伝いをしてみたくなったようで洗い方の注意をしました。いらなくなったぼろきれで、食器の汚れをふき取ってからアクリルたわしで洗うと川を汚さないですみます。みなさん楽しそうに作っていました。



## は) 川口市民環境会議「電気製品の待機電力を調べてみよう」南雲芳広

内容: 電気製品を使っていない時でもコンセントにさしているだけで流れる電気(待機電力)を、ワットワーマーターを使って調べてみました。

感想: 身近にある電気製品の待機電力を、みなさんに知ってもらい省エネルギーについて考えてもらいました。家でも実行してもらえらるとい地球温暖化は少しでも防げるのではないのでしょうか。



## に) 東京電力「ソーラーオルゴールを作ろう」奈良隆之

内容: 「電気と環境・地球温暖化」の話と、模型のソーラーハウスを作成しました。これは、ソーラーハウスの屋根に取り付けた太陽パネルに太陽の光が当たると音楽が鳴ります。完成後、光を当て音が鳴った瞬間、参加者の皆様に喜んでいただいたことは、忘れられません。模型を通して環境にやさしい近未来の省エネ住宅のあり方を多くの参加者に理解していただいたと思いました。

感想: 環境フォーラムに、初めて参加させていただきありがとうございました。日頃から環境に関心のある市民の方であったため非常にやりがいを感じました。



## ほ) グラウンドワーク川口「自然ものづくり。笛を作ろう」南・伊原・萩原・岩崎

内容: 笛作り・南さん、伊原さん

まず、のこぎりや小刀を使う時の注意、道具の名前と特徴、危険なこと、道具の安全な使い方を教えました。見本を作っておき、一斉に取りかかって作りました。

感想: 小さな子がいなかったことや、去年の経験者がいたのでやりやすく、大人も子どもも喜んで作っていてよかったです。

内容: アクセサリー作り・萩原さん、岩崎さん

数種類のどんぐりに穴あけ、見本をいくつか作っておいて、関心のあるものを作ってもらいました。ペンダント、ブローチなど、どんぐりに糸を通したり、金具を張って作りました。

感想: みんな真剣に、手早く作っていました。時間も十分あったので、楽しそうに笛とアクセサリーの両方作る子が多かったです。けが人が出なくてよかったです。



## へ) 川口市民環境会議「環境カルタを作ろう」古澤房子

内容: ふだんは資源ごみとして出してしまう雑紙の中から、アイスクリームやお菓子の箱の広い部分を使って「環境カルタ」をつくり、カルタ遊びをしました。

感想: 作ることに夢中になり、もう少し無駄遣いをしないことを強調し、エコライフをしながら楽しむことをアピールできればよかったように思います。チェックシートの項目を使った「環境カルタ」作りを、遊びに来ていた子達にも説明をして作ってもらいましたが、案外「おもしろい」といってくれました。これで遊びながらCO<sub>2</sub>の数字を覚えてくれたらうれしいです。参加者が少なかったので予定よりたくさん作れましたが、絵を描くことに夢中になってゲームをする時間が取れなかったのがすこし残念でした。

それにしても、子ども達のイマジネーションの豊かさには驚かされました。とてもすばらしい作品ができましたと思います。今後も、「紙」をテーマにしたワークショップができればいいと思います。それも材料すべてを使い切るような作品ができれば。例えば、コラージュとか細く丸めた紙筒で編む入れ物とか…。考えればいろいろありそうです。



## と) 劇団ちよっぷ「声を出して、うたっておどろう！」斉藤るみ子

内容: 自己紹介ゲームをしてお友達になろう! \*手遊びゲームでわくわくしちゃおう! \*「小さな世界」の歌をみんなでたのしく歌おう!  
\*今度歌いながら、おどってみよう!ミュージカルスターの気分だね!  
\*きゅうけいタイム「人形劇が始まるよ!」\*さてさて、いよいよ、ちよっぷり劇あそびをしてみよう。タイトルは「みんなの地球~小さな世界~」!



## < アンケートから >

回収数 21枚

### 楽しかったところ

- \* アクリルたわしを作ったこと。まずいらないぞうきんでふき取って、このアクリルたわしでふけば水もきれいになるし、お母さんたちも楽など知ることもできたので楽しかったです。
- \* 自分の発表ができたこと。
- \* いろんな人と仲良くなれたこと。
- \* 自分で物を作ること、いろいろ自分でできること。
- \* じぶんで、自分だけの笛やストラップが作れたこと。
- \* わたしたちがしているリサイクルをみんなに知ってもらえたこと。
- \* いろんな人の意見が聞けたこと。
- \* いろんな人がやったことを見れたので良かった。
- \* 劇団ちよっぷのワークショップで自分が演じたこと。
- \* 劇団ちよっぷの「げき」が楽しかった。
- \* 発表を通して参加している人の真剣さが伝わった。それだけでも有意義なものだった。
- \* 環境についてあらためて考えさせられた。
- \* 知らないことをたくさん知れてよかった。
- \* 全てみんな一生懸命になって発表、企業の協力、ボランティアの人たちの協力すばらしいものです。
- \* 皆さん、自分たちの思いを伝えようとがんばっている様子うかがえ、発表を見ていて気持ちよかったです。



### 発表をして感じたこと

- \* 最初はむりだとおもったけど、みんなの前でしゃべるのは得意なのでうまくできたと思います。
- \* 発表はおもったようにできました。でも少し緊張感があったけど楽しかったです。
- \* 私はちゃんとできました。発表できてよかった。
- \* 自分たちの考えが伝わったから良かった。
- \* 見ている人がうなずいていたのでよかった。
- \* 思ったようにできたと思う。
- \* ちゃんとできたけど、みんなすごくよかったです。



### 発表を聞いて感じたこと

- \* わたしたちが学校でやっていることも、みんなやってくれているのでとてもうれしいと思いました。
- \* 友達の発表を聞いて、もっともっとエコライフをして地球を大切にしていきたいなあと思いました。
- \* 給食のことを発表してくれた人、残菜についてとてもよい発表をしてくれて私も考えた。
- \* 環境を考えている人がたくさんいることに驚いた。
- \* 自分の他にも、環境に取り組んでいる人がいるということ。
- \* みんないろいろなりサイクルをしているのだと思いびっくりしました。今日みたいな発表会のような場をたくさん作ればいいと思います。
- \* 地球に住んでいる一人一人が環境に目を向けるべき。

- \*いろいろなことに挑戦しようと感じました。
- \*環境が悪化していること。
- \*他の人の発表を聞いて、自分もそのようなことができれば良いなと思いました。
- \*言っていることをやろうと思った。
- \*感動した。
- \*みんな、すごくいろんな事を調べていてすごかった。
- \*みんなすごい取り組みだな・・・。
- \*みんなもがんばっているんだなぁーと思った。
- \*子供の頃から環境に興味を持ち取り組んでいくことの大切さをあらためて実感しました。



また発表したいですか？（発表者回答 16 名から） はい・16 名

なぜそう思いますか？

- \*また私の考え、意見を伝えたい。
- \*発表することに意味があると思う。みんなに知らせることができる。
- \*自分ができたことを他の人に伝えることができるから。
- \*自分の意見が通じ、やってくれるのがうれしい。
- \*緊張はするけど、人前でしゃべるのが慣れてくるので、また参加したいです。
- \*緊張して発表してみるのもいいかなぁと思ったから。
- \*楽しくて何回でもやりたいからです。
- \*環境について前向きに考えている仲間の考えを聞けるから。
- \*みんながいろいろな意見を知るのはいいいことだから。
- \*いろいろな人の考えを聞きたいから。
- \*みんなはどんなことをしているのか知りたい。
- \*勉強になって、楽しかったから。

今後、どのようなことがあると良いと思いますか？

- \*小さい子、小・中・高・大学生・大人みんなのそれぞれの発表がとて素晴らしいのでぜひ続けたい。学校や子供たちを応援してくれているボランティアの方がたくさんいらっしゃるというのが力強くうれしい。
- \*川口市の小・中・高の人たちの代表が集まって話すといいと思います。
- \*もっとエコライフDAYを増やしてみたらよいと思います。
- \*一人一人、環境について意見の言える場があるといいと思う。
- \*ひとりひとりの意見を詳しく聞いてみたい。
- \*水に関する会。
- \*また、何かを作ったりしたいです
- \*なんでもいい。分からない。
- \*もう十分、特にない。
- \*ワークショップを一つか二つ増やしてほしい。
- \*なんでもごみをリサイクルすることです。



#### 編集後記

第2回「環境フォーラム」を無事開催することが出来ましたことを心より感謝申し上げます。今年も、他の行事と重なりながらも、昨年よりもさらに充実した内容で開催できましたことを、本当に嬉しく思いました。昨年の発表の中でのミルクパック回収がきっかけとなり、小学校3校が繋がって「リサイクルしたら、物として返ってくる仕組みと取り組みが実現できたこと」、「チェックシートのコメント欄から発表に繋がられた生徒」、「学校や地域で取り組んだことの発表」、「川口市民環境会議の活動及び成果の調査報告」など、多くの支持を得ていることを実感できました。

開催にあたり、参加、発表、展示、引率の先生方、ワークショップのリーダーさん、初めから最後までお世話になりました市役所の職員の皆様、見学参加で遠路お越しの方々、ボランティアで参加手伝いをして下さった高校生と大学生、会員・実行委員の方々等、一人の思いが今やみんなそれぞれの思いに変わり、多くの参加者と一丸となって真剣に取り組めたことを本当に感謝いたしております。最後に言葉に発することが出来ませんでしたことをお詫びに変えて、感謝の言葉をここに記させていただきました。本当に有難うございました。

環境フォーラム実行委員長 牧野真知子 080-1209-1280